

赤い屋根まごころ基金会計報告 2020年度(2020年4月~2021年3月)

| | |
|------------------------------|-------------|
| | (単位:円) |
| 【前年度繰越金】 | 17,449,657 |
| (うち積立金) | (3,280,655) |
| 【収入】 | |
| 寄付金 94件 | 3,345,860 |
| 【支出】 | |
| ボランティア活動費 | 349,553 |
| 市民公開イベント費 | 6,550 |
| 患者会運営費 | 8,980 |
| 図書費 (外来待合、医療情報の庭、入院患者図書室) | 1,579,062 |
| 図書費(データベース)※積立金より支出 | 3,565,540 |
| 車椅子購入費 | 104,913 |
| 歩行器購入費 | 310,000 |
| 病棟/外来用備品・消耗品費 | 329,092 |
| 赤い屋根まごころ基金報告書印刷費 | 90,750 |
| 計 | 6,344,440 |

| | |
|--|------------|
| 【積立金】 | |
| 積立金繰り入れ | 284,885 |
| 【翌年度繰越金】 | 14,451,077 |
| (うち積立金) | (0) |
| ※積立金:寄附金の中から、基金の目的に沿った大きな支出に備えて、積立を行っています。 | |

上記のように使わせていただきました。
ありがとうございました。

※ご寄付いただいた方※ ご氏名の掲載は、承諾をいただいた方のみです(敬称略)

| | | |
|---------|-------|-------|
| クラブ株式会社 | 出井 徹 | 大森 清 |
| 綾 昭子 | 小西キヨ子 | 大神 昭孝 |
| 井上 信二 | 小谷 雄亮 | 池田 毅 |
| 萱野 忠代 | 森 淑子 | 藤井 基明 |
| 五百川明雄 | 森 壽司 | 藤井 裕士 |
| 黒見 淑子 | 是本 憲司 | 徳川 隆子 |
| 三森 京子 | 西村 真範 | 福本みゆき |
| 山田 明子 | 石井三恵子 | 野口 勝弘 |
| 柴北喜美子 | 大森 正樹 | |



赤い屋根まごころ基金

ご厚志を、未来へつなげる

【赤い屋根まごころ基金について】

当法人は、創立当初より、地域の皆さまへの社会貢献を目的の第一と考えて医療を行っています。

「赤い屋根まごころ基金」は、2004年12月の設立以来、皆さま方からのご厚志をお受けし、皆さまの病院としての活動をよりよくするために役立たせていただいています。

基金の趣旨をご理解のうえ、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

基金の取り扱いについて

1. 「赤い屋根まごころ基金」は、次のようなことに使わせていただきます。

- ① 地域の皆さまの健康づくり、病気の予防など。
- ② 明るく快適な病院環境にするための整備。
- ③ 病院で行う臨床研究に対する支援。
- ④ 職員の教育研修に対する支援。
- ⑤ ボランティア活動に関する支援。
- ⑥ ご寄付いただいた方のご要望事項。

2. 「赤い屋根まごころ基金」は、「基金制度運営委員会」で運営いたします。

3. 「赤い屋根まごころ基金」の活動内容(寄付金の受け入れ・使用状況など)については、ご寄付いただいた方をはじめ、広報いたします。

4. 「赤い屋根まごころ基金」へのご寄付は、「すべての人に平等に」という創立者の精神に基づき、誤解を招きやすい入院予定・入院中の患者さん、ならびにそのご家族からの寄付はご遠慮いただいています。個人の方の当法人へのご寄付については、確定申告により所得税の優遇措置が受けられます。当法人または法人施設のホームページをご覧ください。下記事務局にお問い合わせください。



約百年前に設立した倉敷中央病院が1927年に独立採算制へ移行してから、当法人は民間医療機関として補助金や交付金に頼ることなく、収入の約99%が保険診療による診療報酬を財源としております。

質の高い医療を地域の皆さまに提供するため日夜努力を重ねておりますが、その実現には継続した人材の育成や高度な医療機器が不可欠です。ただ、国の医療費抑制政策や、医療の高度化に伴う薬剤や医療機器の価格高騰で病院経営は厳しさを増しています。コロナ禍でも地域医療の最後の砦として、日夜を問わず職員が重症患者の治療に当たっています。

地域の医療の質向上のため、誠に恐縮ではございますが、皆さま方にお力添えを賜りたく、お願い申し上げます。

「赤い屋根まごころ基金」のご案内

基金事務局(086-422-0210 経理課)または入院会計窓口
〒710-8602 倉敷市美和1丁目1番1号
https://www.kchnet.or.jp/oharahcf/kifu_akaiyane.aspx



公益財団法人
大原記念倉敷中央医療機構

赤い屋根まごころ基金

ご厚志を、未来へつなげる



Message from Chairman

理事長より皆さまへ

公益財団法人
大原記念倉敷中央医療機構

理事長 浜野 潤

平素は当法人の活動にご理解・ご協力をいただき、まことにありがとうございます。

新型コロナウイルス禍をはじめ、これからの医療を取り巻く環境の大きな変化に対応していくためには、当法人の長い歴史に培われた伝統を生かしつつ、必要な改革を加えていく「伝統と革新」が必要です。常に創業の理念に戻りつつ、生起してくる諸課題に果敢に取り組むことで、地域の皆さまの健康に寄与していく所存です。

「赤い屋根まごころ基金」は、皆さま方と共に当法人をより良いものにしていきたい、皆さま方と共に歩み、進化する医療機関でありたいという思いで始めた基金でございます。この活動は、当法人が進める社会貢献をより実り多いものとするために大きな力となっています。

基金は専門の委員会適切に管理・運営し、快適な病院環境整備のためなどに使わせていただいています。2020年度は全職員向けオンライン医療情報購入の援助ほか、高齢者用四輪歩行器や病棟用シャンプークッション、車いす、院内デイサービス備品などを購入しました。

今後とも、皆さま方の基金へのお気持ちを十分に考慮して使わせていただきたいと思います。ご支援・ご賛同のほどよろしくお願い申し上げます。



What we do

当法人のトピックス

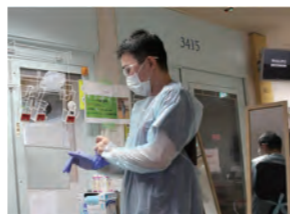
2020年4月-2021年3月

breaking news



理事長交代 2021年6月5日

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構は6月15日付で、理事長の大原謙一郎が理事会長に、副理事長の浜野潤が理事長に就任しました。当院を含む当法人はこれからも、創設者 大原孫三郎の「志」を受け継ぎ、最新・最高の医学による最良の医療を志向し、患者本位の医療、全人医療、高度先進医療を行い、地域社会に貢献してまいります。



新型コロナ患者さん初の受入れ 2020年3月27日

新型コロナウイルス感染症受入れ病院として、当院は患者さんの受け入れを続けています。感染拡大状況下では岡山県の要請を受け重症10床、中等症16床まで専用病床を確保し、対応しました。



市民公開講座ライブ配信開始 2020年7月3日

新型コロナウイルス感染予防策として、市民公開講座「倉中医療のつどい」をYouTubeでライブ配信。2020年度に10回開催。



令和2年7月豪雨で被災した熊本県へDMAT派遣 2020年7月7日

熊本県の人吉・球磨医療圏保健医療調整本部へ当院の災害派遣医療チーム「DMAT」1隊を派遣しました。



岡山県知事が当院へ視察に 2021年1月15日

岡山県の伊原木隆太県知事が、医療現場の視察として当院に来院。救命救急センターや新型コロナウイルス感染症の患者さんが入院されている病棟などを視察されました。

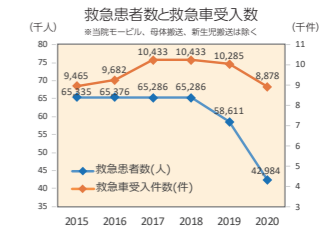
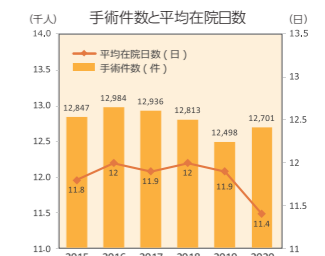


results

診療実績

一倉敷中央病院 2020年度

- 入院延患者数 341,960人 (1日平均 937人)
- 外来延患者数 618,042人 (1日平均 2,492人)



ご厚志をかたちに -2020年度の基金活用実績より

全職員向けオンライン医療情報購入の援助

全職員の教育研修支援目的で導入している4つのツールについて、赤い屋根まごころ基金から2020年度の契約を援助しました。
SFX (文献検索の結果から本文へつなぐサービス)
Procedures Consult (臨床手技動画集)
Nursing Skills (看護手順動画集)
SafetyPlus (医療安全動画集)



職員の教育研修への支援

退院時の荷物搬送用大型カート

患者さんが退院される際に、荷物をまとめて玄関まで搬送するためにワゴンなどを使用しています。従来のはサイズが小さく、何度も往復する必要がありました。患者さん・ご家族が荷物の搬送を1回で終われば、ご負担が少なくなります。昨年より大型ショッピングカートの導入を進めており、今年度は13台購入しました。



患者さんのための活用

院内デイサービス備品

院内デイサービス・個別レクリエーション用 CD プレイヤー5台と音楽 CD8巻を2セット購入しました。当院では介護福祉士が1棟6階病棟、3棟6階病棟で院内デイサービスを行っているほか、個別レクリエーションも対応しています。備品が増え、幅広い年齢に合わせた曲を選択して楽しめるようになりました。新型コロナ患者さんの受け入れが始まると、認知症の高齢患者さんのお心が落ち着くよう音楽を流すことも。レッドゾーンから持ち出せないため、複数台を追加購入しました。



患者さんのための活用

シャンプークッション

ご入院中の患者さんが洗髪される際に使用するシャンプークッションを17個購入しました。洗髪槽の頸部が患者さんの首に直接あたると、患者さんは苦痛を感じられ、気持ちよく洗髪いただけません。病棟を確認すると、劣化したものを使っていたり、そもそも持っていないなど判明したため、今年度に一括で購入・配備しました。毎年、当院へ多くの看護師を輩出する倉敷中央看護専門学校にも、就職後と同様の環境で研鑽を積めるよう、あわせて購入しました。



患者さんのための活用

四輪歩行器

今年度、外来用の四輪歩行器を20台購入しました。購入前は19台配備していましたが、毎日すべて出払い、ご不便をおかけしていましたが、車いすを代用する患者さんもおられ、このままでは転倒のリスクが高い状況が続くと判断し、増数しました。



患者さんのための活用